



1. 外観。2. 内観。3. 海を臨む。4. 外観。5. 吹抜リビング。6. 浴室。7. テラス。8. 浴室。9. 外観。10. 施設全景（鳥瞰パース）。

沖縄科学技術大学院大学 シーサイドファカルティハウス 8棟

Okinawa Institute of Science and Technology Seaside Faculty House 8 BLD.

■ 施設概要

建築主	沖縄科学技術研究基盤整備機構
所在地	沖縄県恩納村
敷地面積	20,823.73㎡
建築面積	約 143.25㎡/棟、計 1,145.97㎡
延べ面積	約 173.52㎡/棟、計 1,388.97㎡
構造	RC造
階数	地上2階、
最高高さ	9m
駐車場	—
竣工	2008.3

■ コンセプト

本施設は、沖縄科学技術大学院大学（仮称）の研究者用長期滞在型宿泊施設として整備された。

敷地は沖縄県本島の西海岸に面した小高い丘の上に位置する。現況の自然・地形に極力手を加えることを避け、海への眺望を確保しつつ、8棟の戸建住居を配置している。宿舎にありがちな同一平面ではなく、平屋、スキップフロア、2階建といった様々なタイプを計画し、多様なニーズに対応している。また隣地とのコミュニケーションが自然にとれるよう外部からも直接アクセスできるオープンデッキテラス等を設けた。

色彩計画について、廻りの景観に溶け込むよう周辺既存樹木の幹の色を基調色とした。屋根や塀については、沖縄の古民家に使われている赤瓦や琉球石灰岩を採用し、沖縄らしさを表現している。